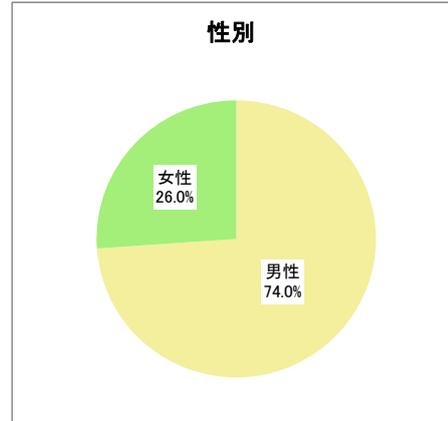


食品安全委員会セミナー「食品分野におけるナノテクノロジーの今 —欧州の動き—」
アンケート集計結果 (平成22年6月9日)

Q1 性別

		回答数	%
1	男性	54	74.0%
2	女性	19	26.0%
	無回答	0	0.0%
	合計	73	100.0%

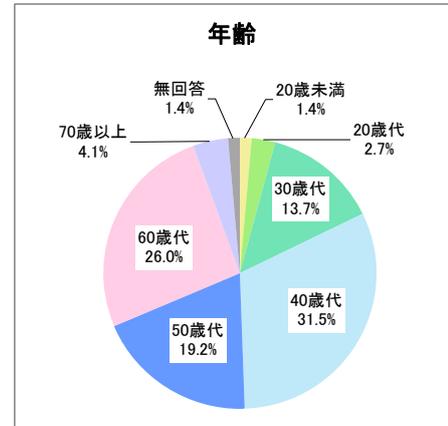
(n=73)



Q2 年齢

		回答数	%
1	20歳未満	1	1.4%
2	20歳代	2	2.7%
3	30歳代	10	13.7%
4	40歳代	23	31.5%
5	50歳代	14	19.2%
6	60歳代	19	26.0%
7	70歳以上	3	4.1%
	無回答	1	1.4%
	合計	73	100.0%

(n=73)

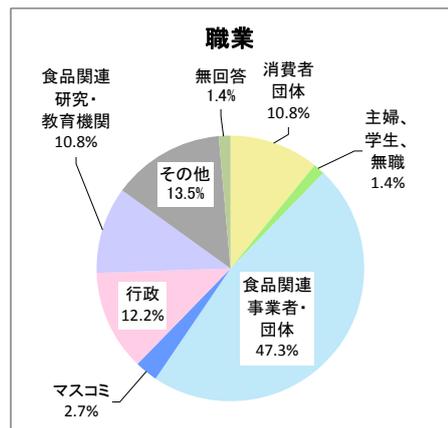


Q3 職業 (複数該当する方は、主なものを1つ選んで○で囲んでください。)

		回答数	%
1	消費者団体 (生活協同組合関係者 など)	8	10.8%
2	主婦、学生、無職	1	1.4%
3	農林水産物生産者・生産者団体	0	0.0%
4	食品関連事業者・団体 (加工、流通、販売 など)	35	47.3%
5	マスコミ (新聞記者、カメラマン など)	2	2.7%
6	行政 (自治体職員、独立行政法人等職員 など)	9	12.2%
7	食品関連研究・教育機関 (教員、研究職員 など)	8	10.8%
8	その他	10	13.5%
	無回答	1	1.4%
	合計	74	100.0%

(複数回答 1名, n=73)

- 8 その他 (具体的に)
- ・シンクタンク ----- 1
 - ・生命科学 ----- 1
 - ・食品関連でない研究機関 ----- 1
 - ・間接部品製造業 ----- 1
 - ・コンサルタント ----- 3
- (コンサル企業・Consultant・健食関連コンサルタント)



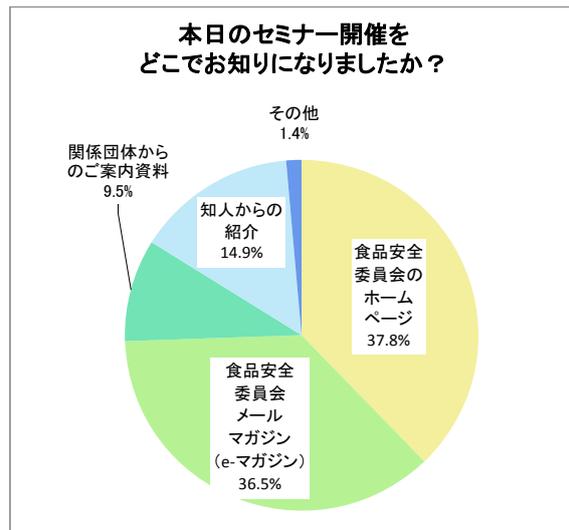
Q4 本日のセミナー開催をどこでお知りになりましたか？

(主なものを1つ選んで○で囲んでください。)

		回答数	%
1	食品安全委員会のホームページ	28	37.8%
2	食品安全委員会メールマガジン (e-マガジン)	27	36.5%
3	関係団体からのご案内資料	7	9.5%
4	知人からの紹介	11	14.9%
5	その他	1	1.4%
	無回答	0	0.0%
	合計	74	100.0%

(複数回答 1人, n=73)

- 4 その他
 ・ 忘れた ----- 1



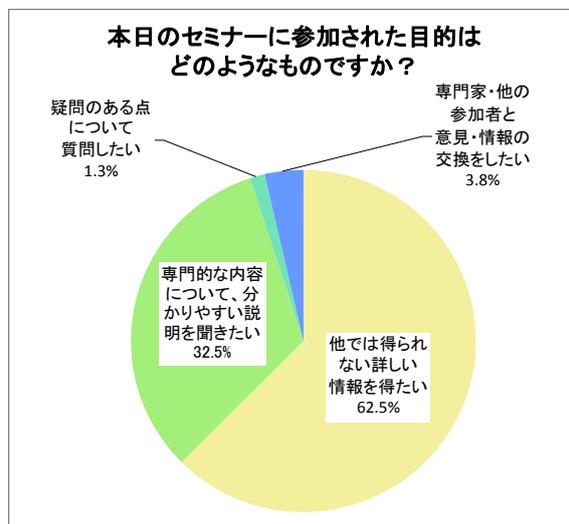
Q5 本日のセミナーに参加された目的はどのようなものですか？

(複数該当する方は、主なものを1つ選んで○で囲んでください。)

		回答数	%
1	他では得られない詳しい情報を得たい	50	62.5%
2	専門的な内容について、分かりやすい説明を聞きたい	26	32.5%
3	疑問のある点について質問したい	1	1.3%
4	自分の考える意見を述べたい	0	0.0%
5	専門家・他の参加者と意見・情報の交換をしたい	3	3.8%
6	その他	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
	合計	80	100.0%

(複数回答 4人, 7回答, n=73)

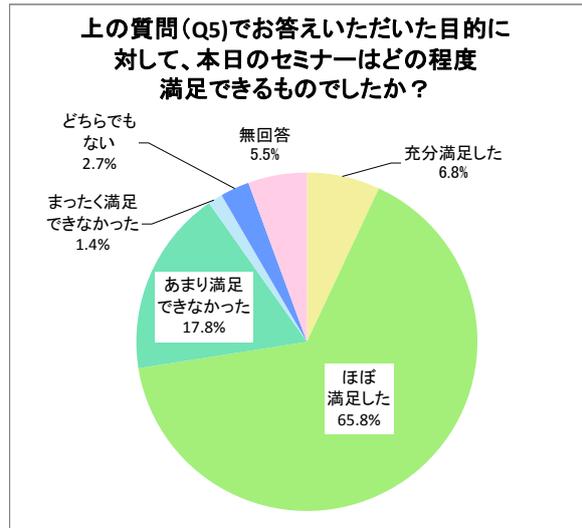
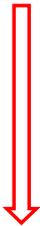
- 1 他では得られない詳しい情報を得たい
 (補足コメント)
 ・ 食品のナノ化による成分の活性化、
 吸収などの安全性



Q6 上の質問 (Q5) でお答えいただいた目的に対して、本日のセミナーはどの程度満足できるものでしたか？

		回答数	%
1	充分満足した	5	6.8%
2	ほぼ満足した	48	65.8%
3	あまり満足できなかった	13	17.8%
4	まったく満足できなかった	1	1.4%
5	どちらでもない	2	2.7%
	無回答	4	5.5%
	合計	73	100.0%

(n=73)



“あまり満足できなかった” “まったく満足できなかった” “どちらでもない” と答えた方に伺います。

Q7 本日のセミナーで満足できなかったとお考えになる点をお聞かせください。

3 “あまり満足できなかった” と答えた方

- ・訳がわかりにくい
- ・技術的な点をもっとほしかった
- ・レギュレーションや組織についての内容が多く
実際の利用などについて知りたかったが、その部分についての講義がなかった
- ・リスク評価上の課題・問題点を知りたかった
- ・ナノテクそのものより、欧州委の食安の仕くみに大半の時間が使われていたため
- ・ナノマテリアル自体が、欧州でも検討中であり、あまり明確になっていない事が判った
- ・もう少しナノ関連のことを話して欲しかった
- ・内容は知っていることだった
今何が問題で（表示とか定ギとか）で、具体的に議論検討されているかを聞きたかった
- ・総括的であり過ぎた
- ・ナノマテリアル食品が健康にどのように対応しているのか、
事例があるのか無いのか、毒性があるのか無いのか教えてもらいたい

4 “まったく満足できなかった” と答えた方

- ・時間がない

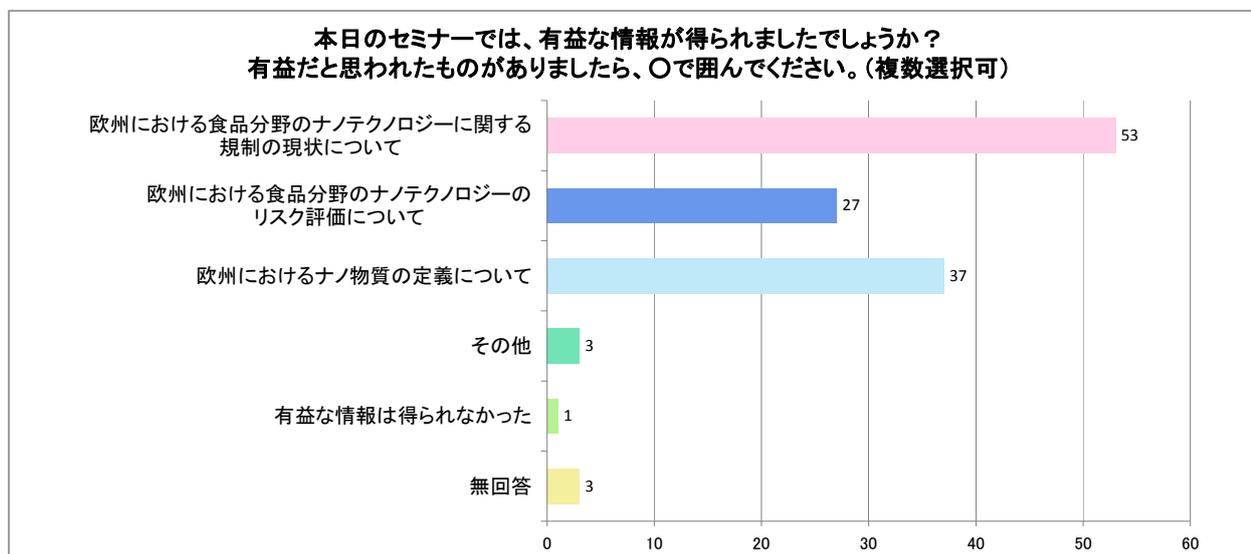
2 ほぼ満足した
(補足コメント)

- ・もっと質疑応答の時間があればよかったです
もちろん有意義でしたが・・・
- ・同時通訳にしてもらって、時間を短く、内容を濃くしてほしい

Q8 本日のセミナーでは、有益な情報が得られましたでしょうか？
有益だと思われたものがありましたら、○で囲んでください。（複数選択可）

		回答数	%
1	欧州における食品分野のナノテクノロジーに関する規制の現状について	53	42.7%
2	欧州における食品分野のナノテクノロジーのリスク評価について	27	21.8%
3	欧州におけるナノ物質の定義について	37	29.8%
4	その他	3	2.4%
5	有益な情報は得られなかった	1	0.8%
	無回答	3	2.4%
	合計	124	100.0%

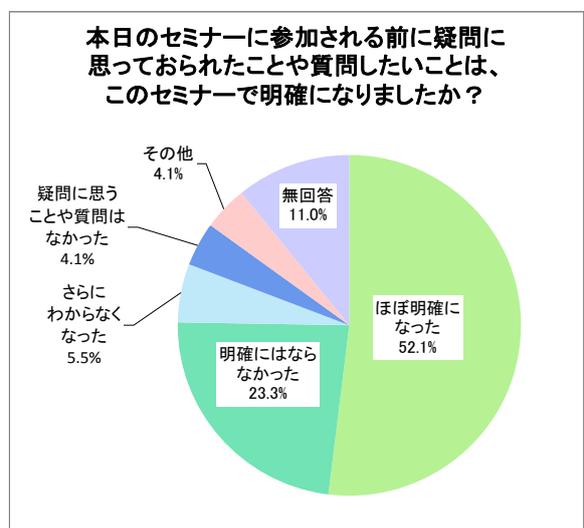
- 4 その他（具体的に）
- ・ 国際的動向
 - ・ 承認されていないがナノ技術を使った食品と訴求しているものが市場にはあるということがわかった
 - ・ サプリメントの現状について
- 5 有益な情報は得られなかった（その理由を具体的に）
- ・ 知っていることだった



Q9 本日のセミナーに参加される前に疑問に思っておられたことや質問したいことは、このセミナーで明確になりましたか？あてはまるところを○で囲んでください。

		回答数	%
1	とても明確になった	0	0.0%
2	ほぼ明確になった	38	52.1%
3	明確にはならなかった	17	23.3%
4	さらにわからなくなった	4	5.5%
5	疑問に思うことや質問はなかった	3	4.1%
6	その他	3	4.1%
	無回答	8	11.0%
	合計	73	100.0%

(n=73)



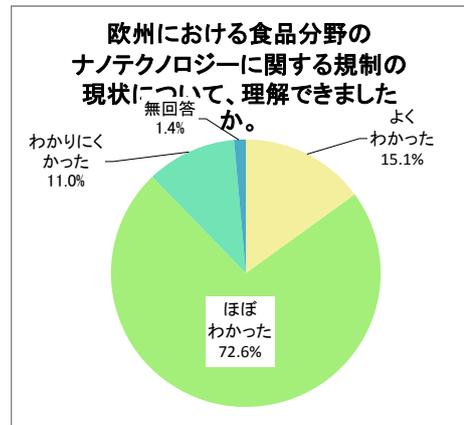
- 6 その他（具体的に）
- ・ 表示に関すること
 - ・ 明確にはなりにくいということがよくわかった
 - ・ どのようなお話であるか、分からなかった
 - ・ ナノテクノロジーの対策をどのようにお話しされるのかに関心があった
 - ・ 現状が理解できてよかった

Q10 本日のセミナーの内容について、それぞれあてはまる箇所を○で囲んでください。

① 欧州における食品分野のナノテクノロジーに関する規制の現状について、理解できましたか。

		回答数	%
1	よくわかった	11	15.1%
2	ほぼわかった	53	72.6%
3	わかりにくかった	8	11.0%
4	全くわからなかった	0	0.0%
	無回答	1	1.4%
	合計	73	100.0%

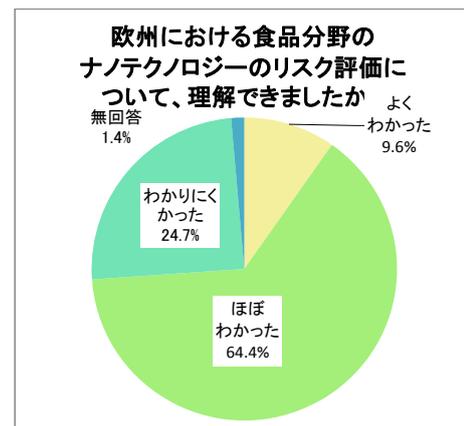
(n=73)



② 欧州における食品分野のナノテクノロジーのリスク評価について、理解できましたか。

		回答数	%
1	よくわかった	7	9.6%
2	ほぼわかった	47	64.4%
3	わかりにくかった	18	24.7%
4	全くわからなかった	0	0.0%
	無回答	1	1.4%
	合計	73	100.0%

(n=73)

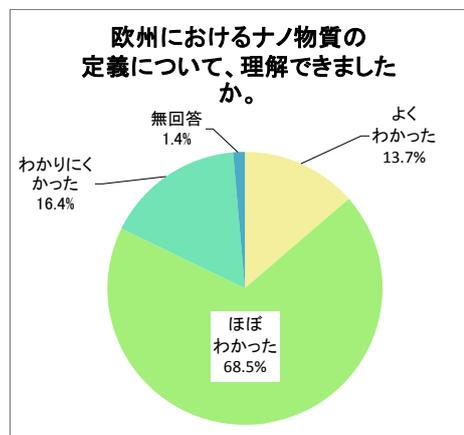


- 2 ほぼわかった
(補足コメント)
・ 解決策は未だということがわかった

③ 欧州におけるナノ物質の定義について、理解できましたか。

		回答数	%
1	よくわかった	10	13.7%
2	ほぼわかった	50	68.5%
3	わかりにくかった	12	16.4%
4	全くわからなかった	0	0.0%
	無回答	1	1.4%
	合計	73	100.0%

(n=73)



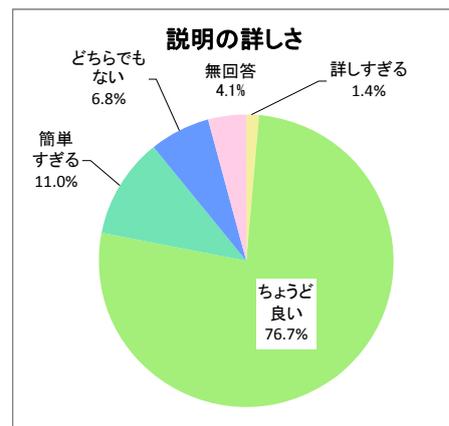
- 3 わかりにくかった
(補足コメント)
・ まだ定義が不明だから

Q11 本日のセミナーの進め方について伺います。セミナー全体を通じて感じた印象についてお聞かせください。

a. 説明の詳しさ

		回答数	%
1	詳しすぎる	1	1.4%
2	ちょうど良い	56	76.7%
3	簡単すぎる	8	11.0%
4	どちらでもない	5	6.8%
	無回答	3	4.1%
	合計	73	100.0%

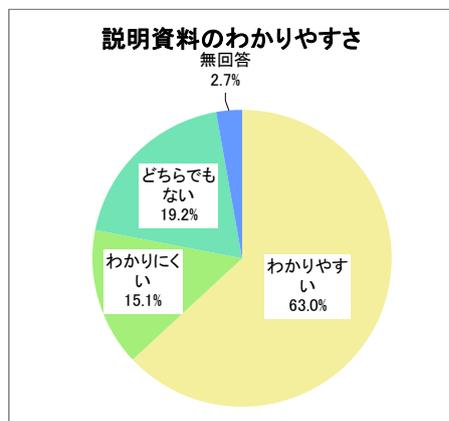
(n=73)



b. 説明資料のわかりやすさ

		回答数	%
1	わかりやすい	46	63.0%
2	わかりにくい	11	15.1%
3	どちらでもない	14	19.2%
	無回答	2	2.7%
	合計	73	100.0%

(n=73)

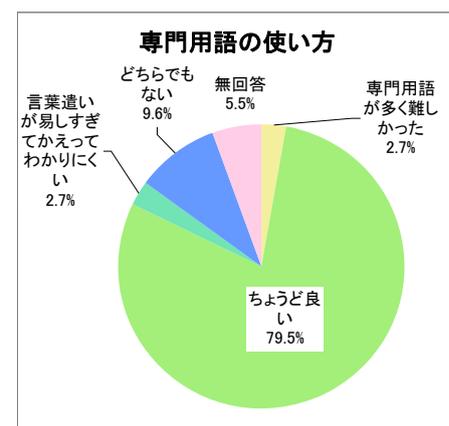


- 他では得られない詳しい情報を得たい
(補足コメント)
 - 食品のナノ化による成分の活性化、吸収などの安全性

c. 専門用語の使い方

		回答数	%
1	専門用語が多く難しかった	2	2.7%
2	ちょうど良い	58	79.5%
3	言葉遣いが易しすぎてかえってわかりにくい	2	2.7%
4	どちらでもない	7	9.6%
	無回答	4	5.5%
	合計	73	100.0%

(n=73)



- 無回答
(補足コメント)
- 通訳ありがとうございました

d. その他、進め方でお気づきの点 (具体的に)

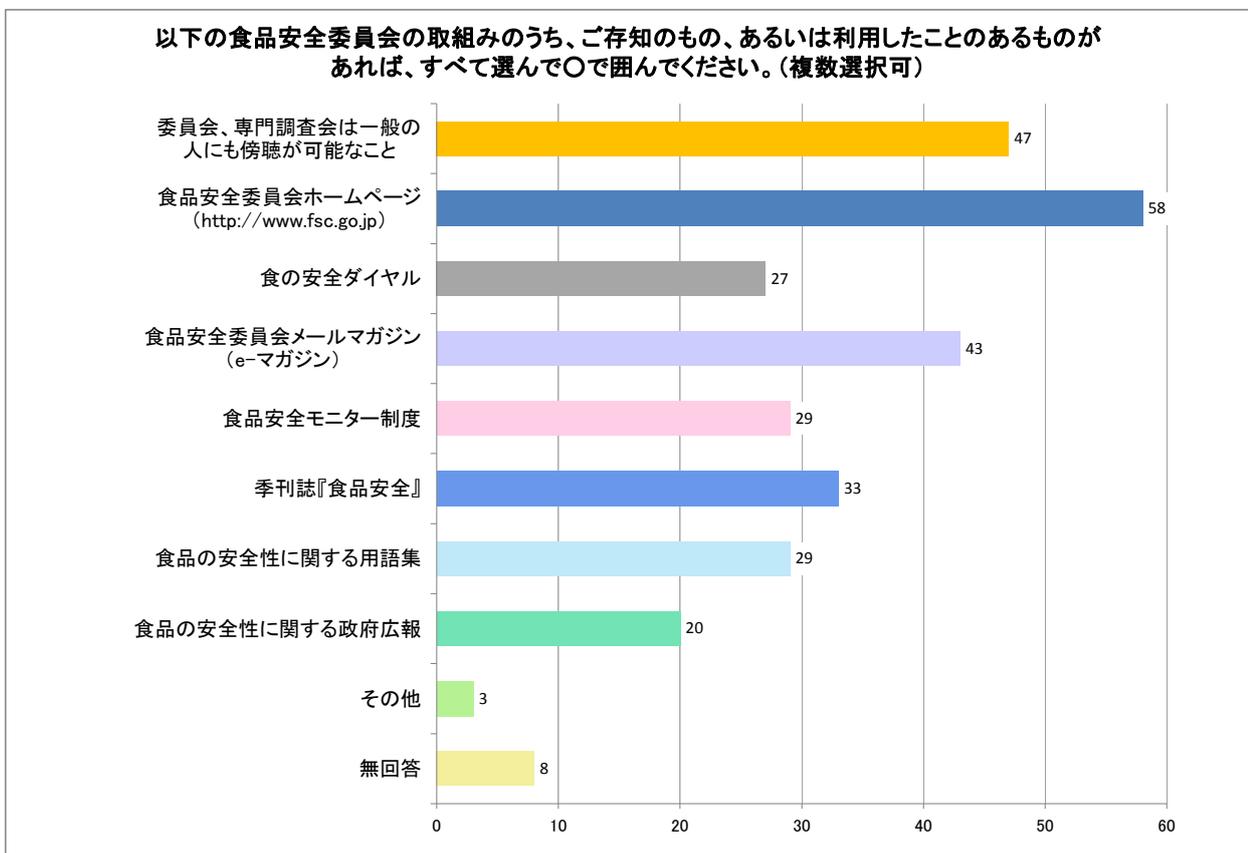
- 同時通訳の方が時間が短くできるのでは？
- 少し時間が長すぎる様に感じました。
- EU自体については簡単でもよい
- 間口が広すぎるのでは？
- 訳が詳しく親切で良かったがもう少し要約でも良かった。
- 同時通訳の方が時間を有効に使えたのでは？
- 資料 (パワーポイント) が簡単すぎて、大事なところが通訳だけになっているケースがあった
規則番号をかいてほしかった
- 訳者はよかったかと思えます

Q12 以下の食品安全委員会の取組みのうち、ご存知のもの、あるいは利用したことのあるものがあれば、すべて選んで○で囲んでください。（複数選択可）

		回答数	%
1	委員会、専門調査会は一般の人にも傍聴が可能なこと	47	15.8%
2	食品安全委員会ホームページ (http://www.fsc.go.jp)	58	19.5%
3	食の安全ダイヤル（食品の安全性についての情報提供やお問い合わせ、ご意見を受付ける窓口）	27	9.1%
4	食品安全委員会メールマガジン（e-マガジン）	43	14.5%
5	食品安全モニター制度	29	9.8%
6	季刊誌『食品安全』	33	11.1%
7	食品の安全性に関する用語集	29	9.8%
8	食品の安全性に関する政府広報	20	6.7%
9	その他	3	1.0%
	無回答	8	2.7%
	合計	297	100.0%

4 その他

- ・このセミナーが初めて



Q13 食品の安全性を確保していく観点から、今後の食品安全委員会セミナーで取り上げて欲しいテーマについてお聞かせください。

- ・畜産動物（家畜）の疾病とその対応（防御策）について。
- ・遺伝子組み換え食品の現状、Pros/Cons.
- ・ナノ食品に関する安全性研究の具体的な研究結果。
- ・トランス脂肪酸について／海外（諸外国の添加物の規格について）／食の安全・安心について
- ・食肉安全／ロてい疫関連
- ・ナノテクの応用について詳細に
- ・食品に含まれる重金属の安全性評価について
- ・コレステロール（善玉、悪玉と云われる）→直近の資料で
- ・ダイオキシンについて

Q13 食品の安全性を確保していく観点から、今後の食品安全委員会セミナーで取り上げて欲しいテーマについてお聞かせください。（続き）

- ・ ナノに関しては今後も継続してほしい
- ・ 食品安全委員会自体が、安全性を独自評価した物資について、都度、セミナーを開催して欲しい。
例) エコナ、トランス脂肪酸
- ・ 業社間取引における添加物等表示についての最新情報/外食店舗におけるメニュー表示上の注意点について
- ・ カビ毒
- ・ サプリメントの安全性が問題になっているが、成分と量の関係（例えばこの一粒で〇〇100コ分の〇〇を含んでいます等. 他の食品の成分は問題にならないのか? etc)
- ・ 東アジア全体で検証が必要な食品安全性評価。
（たとえば中国等からの汚染物質の流入に対するアセス評価）
- ・ 米国におけるナノ食品の現状について
- ・ 自然界に（食品中にわずかに）存在する成分ではあるが、それらを高濃度に含む新規食品の安全性について。
- ・ 日本の企業が取り組むべき課題、方向性について示すようなセミナーなど。
- ・ 遺伝毒性のある物質のリスク評価・管理/既存食品の安全性/自然由来食品の安全性/リスク評価とリスク管理の関係についての見直し
- ・ 今の世の中では消費者行政に重点を置いた考え方から、食品メーカーに対しても100%安全な食品を作るように注文される。食品、又は食べ物、食べ方に100%絶対安全は無いという事、をもっと消費者に知らせるべき、特に消費者委員会の連中には！
- ・ GMO
国民の不信、不安は根強く深い。
リスクコミではなく、対話をつづける必要あり。

Q14 最後に、全体を通してのご意見、ご要望、ご感想がありましたらお聞かせください。テーマについてお聞かせください。

- ・ 特段なし
- ・ 今後もセミナーを定期的に継続して行って欲しい
- ・ ナノに関して何もきまっていない欧州より米国のDr. Maynard (W. Wilson Center)あたりの話しが役に立つと思う。
- ・ 質疑応答が興味ぶかかった。
- ・ 若干、具体例を間々に入れて欲しい。
- ・ 良いセミナーであった。
広く公開して参加者拡大を！
説明・配布資料が良い。
- ・ 消費者委員会との関係が難しいが、食品安全委員会の設立された経緯を念頭に科学的な観点から食の安全等に関する情報を発信するとともに信念を持って提言して欲しい。
- ・ 机があったら良かったです。メモをとったりするのによいから。
/スライド中の術語の和訳が正しくない場合があるなど、例えば計測や物理化学の研究者とのコラボが必要ではないかと感じました。
例えば、Specific surface areaは比表面積という特定の術語（単位質量当りの表面積）という意味ではないのか？Characterizationも特徴づけではなく、そのままキャラクターゼーションあるいは特性評価と訳されるべきではないかと存じます。
/政策的立場だけでなく、物質そのものの特性評価や毒性評価を行なう研究者と交流をもつことが必要。なぜなら、企業では実際に数値で特性評価の結果を出して当局に伝えなくてはならないから。
- ・ 講演だけで終わらずに、日本側のカウンタパートとのディスカッションを加えてはどうでしょうか。
- ・ 全体については、とてもわかりやすく、聞きやすかったと思います。これからもこのようなセミナーがあれば、積極的に参加したいと思います。ありがとうございました。